

活動名 : あづまガールズフットサルフェスティバル2018
日程 : 平成30年2月17日(土)・18日(日)
会場 : あづま総合体育館体育館
参加 : ガールズクラス 8名
帯同 : 小松コーチ
結果 : 8チーム中 準優勝
報告 : 小松コーチ

今年もまたこの季節となり私達 FC ALLez ガールズ (以下アーレガールズ) は、1年間のトレーニングを胸に吾妻ガールズフットサルフェスティバル 2018 に参加することが出来ました。

今回もガールズの担当としてこの大会に帯同したので2日間に渡る選手の素顔をレポートしたいと思います。

なお大会の試合結果は、レポート以下にある大会事務局公式発表をもってかえさせていただきます。

ご確認ください。

改めましてこの大会は、設楽コーチの職場である吾妻総合運動公園が女子サッカーの競技力向上と底辺拡大を理念に地域振興を兼ねて毎年開催する大会です。毎年と普通に書きましたがそれでなくても女子サッカーの環境は大変厳しく、参加チームを募るだけでも大変な苦勞だと思います。ここに大会運営も含めて感謝の言葉とさせていただきます。

本当に、県民のため、未来ある女子サッカー選手のためにありがとうございます。

参加選手にとっては、一生に残る思い出となります。吾妻にしか出来ないことだと思います。

これからもよろしくお願いします。

さて私達アーレガールズも参加にあたり様々なセッティングが出てくることも確かです。宿泊などもありすべて当然の流れで設楽コーチにお願いしています。職場と言えど本当にありがとうございます。おそらくはアーレガールズ選手の楽しい笑顔が浮かんでいると思います。

期待を裏切らない笑顔で2日間楽しみました。

保護者の皆様も含めてかけがえのない思い出となりました。

私も1人体制で何とかやり切れました。

本当にお世話になりました

ここからは、お待ちかねの選手レポートへ移って行きたいと思います。

私達アーレガールズは2年生2名、4年生2名、5年生1名、6年生3名の計8名で大会へ挑みました。大会直前に2年生選手の虹花ちゃんがケガによりチームを離脱してしまいました。

アーレガールズは、6年生を中心に虹花選手の分も立派に戦いました。

復帰したら来年のこの大会に向けてまたチーム一丸となって頑張っていきましょう。
しっかりとケガを治して帰って来てください。
基本的に私達アーレガールズの戦い方は、さすがに2年生選手はキーパーはケガのリスクが高くなるので外しましたがチームみんなで話し合い全員で1回はやること、前半後半でキーパーは交代、ただし選手の直訴は認めてあげる、全員で話し合うこと、ゲーム中は個人戦術でゴールを目指すこと、シュートで終わることをベースとして戦いました。
この戦い方は、常に追い求めるアーレ理念のあるべき姿としては至極普通のことです。
選手達は、全員が全員この理念を一生懸命ピッチで表現してくれました。
味方ゴール前から出たボールをそのままドリブル突破、相手ゴールにしっかり迫りシュート、そのままゴールを奪い去りました。
また前線の選手は走る！走る！走る！2日間を通して大会走力ナンバー1と言ってもお釣りがくるのではないのでしょうか。
それほど素晴らしい走力でした。このひたむきな走力は、時に私達応援する者の魂に深く深く響き心までが洗われた瞬間でした。
戦いまでも超越した頑張り、しっかりと私達に伝わりました。
また大会2日間通して同じ相手と2度戦うことにもなりました。
この戦いは、1回目敢え無く敗戦してしまった相手です。
この敗戦では、日頃ポーカークフェイスの心音キャプテンでさえ涙してしまいました。
正直もう6年生と言う大人の階段を登り始めた時期に私自身の指導が耳に入っているのか？心に響いているのかと不安になることもありました。スポーツ、勝負事なのだからと何度も何度も声を掛け続けて来ました。
それが届いていたと確信出来た瞬間の涙でした。信じ合えていたのだと…。
もちろん私はキャプテンをきつく抱き締めキャプテンは私の胸で涙してくれました。

2回目の戦いです。そうです彼女達選手は精神的にも肉体的にもタフでした。
対戦結果で見れば引き分けタイです。
私自身は、この結果も素晴らしいと思いますが言わば勝負はドロー、引き分けですがサッカーでは勝ち切ったと言い切れる戦いでした。
それは、相手ゴール前へ迫る回数、ゲーム支配力ともにアーレガールズが凌駕していると言う事実です。
この事実が真実を物語っていますが勝負は白黒の世界。
灰色でした。
しかしこの灰色でさえ、前日キーパーでやられた6年生彩乃ちゃんは直訴でこの試合のキーパーを買って出てくれました。
スポーツはこの心意気こそ戦う本質だと思います。

しかしこの試合で私は痛恨のミスも侵してしまいました。2年生選手2名を試合に参加することが出来ませんでした。
経験や体験に勝る学びはありません。あのピリピリした緊迫感を経験させてあげたかったと今でも思っています。

ベンチにいながらでも感じていてくれたなら本当に幸せです。

またこの対戦チームには2日目初戦に沢山の応援を頂いたことも事実です。

小耳に挟んだ声から、本当にいい試合を見た、凄かった、よく頑張ったと。

最終的にいい試合、素晴らしい試合とは

技術、戦術論を超えて魂で伝わるもの

本質での戦い

そう言って頂いているように私には聞こえました。ありがたいお言葉を頂きました。

この大会は、2年生選手以外1回は必ずキーパーをやることになりました。時には、厳しい時間帯が多々ありました。

それでも私達は、キーパーはキーパーとしてゴールマウスを守るだけでなく果敢に前に出てフィールドとして戦うことを要求しました。非常に難しいことだと思いますが私との信頼関係を武器に果敢に挑み続けてくれました。

そんなところにもアーレらしさが出てたのではないのでしょうか。

最終戦は、ガールズ精鋭を集めた県南チーム。

私達アーレガールズは臆することなく果敢に挑み続けました。

この試合、心音キャプテンからある提案がありました。それは、ここまで頑張ってきた様々な証なのでしょう、6年生3人全員で勝とうが負けようがずっと戦いたいと。

私にしてみたら本当に嬉しくありがたい言葉でした。このチーム、クラブは本当に幸せです。

毎試合ごと本当に心から分け隔てなく暖かく迎えてくれる保護者の方々が居て、全幅の信頼を寄せて頂きお子さんを私に預けてくださいました。本当に素晴らしい選手の育つ環境がここにあると断言出来ます。その環境で育まれたキャプテンのひとこと。

6年生彩乃選手は、昨年の秋に加入したばかりの選手です。チームやクラブ、それこそスポーツ、サッカーにも戸惑いがある中、本当によく戦ってくれました。

この大会アーレでは、公式試合と認定しています。その試合で2点先取と言う輝かしい偉業もなしとげてくれました。

ますますチームやクラブが好きになりサッカーが好きになった瞬間でした。

ただし、基礎体力も限界に来ていた中での心音キャプテンのひとこと

チームがチーム以上の何かを勝ち取った瞬間でした。

結果的には敗戦してしまいましたが、6年生が力合わせた素晴らしい試合でした。

またこの試合でもドラマがありました。

このドラマには2年生華心選手と未侑選手が大きく関わることとなりました。

終始試合展開はかなり押されていました。

得点差も開きつつある中での2年生選手の投入。だからと言ってアーレには、折れたりあきらめたりと言う言葉は、存在しません。

ひた向きにひた向きにやるべきことをやり戦いを繰り返しています。

この2年生選手の投入により流れがアーレに傾き始めたのです。

これだからスポーツはわかりませんね。

これも誰の目に明らかにわかることでした。

華心選手、未侑選手2人はこんなちからもあるんです。年齢や学年ではなく気持ちなのでしょう。ややもすると一矢報いる得点の可能性もありました。

彼女達のポテンシャルに磨きをかけなければならない課題も見付かりました。

結果的に大会を通して6試合中5試合にこの2年生選手は出場出来ました。ほとんどが体格差があるお姉ちゃん選手との戦いでした。

時には脚が止まったり、味方選手とぶつかって涙する場面がありました。

たくさんの学びの先を感じてくれたと思います。

毎試合毎試合本当にドラマチックと呼ぶにはドラマ以上のものがたくさんあり過ぎました。

常にバランスを取る花里菜ちゃん

オンオフでもチームのバランスを程よく取ってくれていました。

チームナンバー2の走力まなかちゃん

通称まあちゃん。まあちゃんの走力もなかなかでした。時にはディフェンシブのプレーを要求されて頑張っていました。その信頼は素晴らしいものでした。キーパーになった時オフフェンス参加を指導され迷いながらよく戦ってくれました。

チームナンバー1の走力、集選手。大会ナンバー1走力でした。そのひた向きの走力は人を感動させられるちからがあります。

そしてチームナンバー1ドリブラー、唯選手。

唯選手がボールを持ってドリブルに入ればきっと何かが起こると応援するみんなが釘付けになります。ゴールまで迫りゴールする様は大会ナンバー1だと僕は常々感じています。今まで以上に小さくまとまらず豪快なプレーでチームを引っ張ってくれました。

こんな個性で大会を戦い大会第2位の輝かしい称号を頂くことが出来ました。

これは、陰に日向にチームを支えてくれた集選手のお父様や花里菜選手のお父様、貝和アシスタント、練習場所確保の鍵対応で頑張ってくれた熊坂、佐藤、両コーチなど保護者の皆様の選手達を想うお気持ちがあってこそです。

また大会中サポート参加して頂いた根本ほのかちゃんを始めとする根本家族。

本当にありがとうございました。

宿泊でも6年生は本当に大人になりました。

全員での食事などでは、進んでお片付け、女子全員でのお風呂タイムなどチームのまとまりは、大会参加チーム中これもナンバー1でしょう。

心音キャプテン、集選手、華心選手3人ひとつのお布団で寝たこと忘れないでください。

まあちゃんと未侑選手も一緒でしたね。

宝物の時間になりましたね。

こんな素晴らしい大会期間でした。
サッカーを通して何かを感じ何かを学んで
くれたら嬉しく思います。

今世の中では、平昌冬季五輪が開催されています。
あきらめずやりきって金メダル獲得選手が居ました
日本らしさで 300 日以上共同生活
姉妹ですれ違いがあっても気持ちを入れ直してチームで金メダル
金メダルなのに金メダル以上を引き出され銀メダル選手
肋骨を折ってもやりきりました
勝ち過ぎてルール改正、大会前に調子を落としながらも銅メダル
レジェンドは食べる事が出来なくなる環境の中もオリンピック出場
まだまだ競技続行、メダルレベルの話ではありません
やっぱり答えはすべて現場プレーにありました。

私自身もまだまだ学ぶことが沢山ありました。
今大会でも学びました。
これからも選手と一緒に可能性を信じこれからも学んでいけたらと思います

ありがとうございました

コーチ：小松











